



和田山ロータリークラブ 環境美化推進の紙芝居を市内小学校に寄贈

和田山ロータリークラブから、「環境の紙芝居コンテスト」でインターアクト部門、ローターアクト・各学友部門で、それぞれ最優秀賞を受賞した環境美化推進の紙芝居「村人たちと緑の巨人」「わたりどりのたび」を市内小学校8校、義務教育学校前期課程1校に計9セット寄贈いただきました。



就学前の子どもたちに環境の大切さを伝える「環境の紙芝居コンテスト」は、2024年3月に神戸市で開催された「国際ロータリー第2680地区2023-24年度地区大会」において表彰式が行われ、最優秀賞受賞作品2点が表彰されました。

インターアクト部門の最優秀賞は「わたりどりのたび」（滝川中学・高等学校インターアクトクラブ作）に、ローターアクト・各学友部門の最優秀賞は「村人たちと緑の巨人」（神戸ローターアクトクラブ作）に授与されました。

この2作品が、地区内のロータリークラブに配布され、和田山ロータリークラブから養父市内の小学校8校、義務教育学校前期課程1校に計9セットを寄贈いただきました。

これらの紙芝居は、2024年10月7日（月）以降、順次各学校に届く予定です。

・「村人たちと緑の巨人」（神戸ローターアクトクラブ作）

巨人を自然にみたと、村人が巨人の体をきれいにしあげること、お互いを支え合いながら、未永く暮らすお話。村人が好き放題に巨人を使うことで、自然が消えていくことに気づきます。

・「わたりどりのたび」

渡り鳥が行く先々で、ペットボトルの中に入ってしまったカニや、釣り糸が足にからまったカモメ、お菓子のごみに入って抜けなくなったカメなどを助けるお話。どうしたら生き物たちが困らずに安全に生きていけるのかを一緒に考えようとしています。

【問合せ】

教育委員会事務局 教育部 教育課 課長 小谷茂美 担当者 白山真雪
電話 079-664-0282